

(2020年6月)

## ハイチ共和国・政治・経済・社会情勢月報

在ハイチ大使館

### <要点>

#### 【政治】

- モイーズ大統領の任期の終了時期についての議論。
- ハイチ国際空港の再開（30日）。

#### 【経済】

- 2019-2020年度国家予算の採択（5日）。

#### 【社会】

- コロナウィルス感染の広がり。
- ペトロカリベ汚職疑惑に関する報告書の公表の進捗状況（5日）。
- 警官の殺害，元警官のギャングの逮捕命令，警察労働組合

#### 【日・ハイチ関係】

- 令和2年度対ハイチ無償資金協力「経済社会開発計画」署名式（19日）

## 1 政治

### (1) モイーズ大統領の任期の終了時期に関する議論

- 3日 モイーズ大統領は、ジョゼフ外務大臣に対して、海外の在外公館長を通じて、選挙実施への外国の支援を呼びかけるとともに、モイーズ大統領の任期は2022年2月7日に終了することについて各国の理解を得るように指示した。野党は、この動きに異議を唱えた。
- 5日 当地EU大使は、「自由で、正直で、民主的な選挙を実施するために必要な条件に合意するために包括的な政治対話」を改めて呼びかけた。
- 12日 国家警察創設25周年を記念してモイーズ大統領がスピーチを行い、警官は国民を守り、奉仕する責任があると述べた。

### (2) コロナウィルス関連

- 21日 モイーズ大統領が6月30日にハイチ国際空港を再開したいとの声明を出した。
- 30日 ハイチ国際空港が再開され、夜間外出禁止令も深夜0時から午前4時までに短縮された。

## 2 経済

### 2019-2020年度予算採択

- 5日 5日の閣議において1987億グルドの2019-2020年度国家予算が採択された。予算額

は、前年度比36.4%増の1987億グルド。昨年の社会情勢の混乱とコロナの影響等で、9ヶ月遅れで採択されたもの（ハイチの予算年度は10月から9月）。財政赤字は、国内総生産（GDP）比6.2%に上昇（前年度3.5%）。同年度の経済成長率はマイナス3.6%（前年度プラス1.8%）、インフレ率は22.6%（前年度5.3%）の見込み。

### 3 社会

#### (1) コロナウィルス感染者

- 1日 保健省は、コロナウィルス感染者が2,000人を越えたと発表した。
- 2日 人権団体は、民事刑務所において2名の服役者がコロナウィルスで死亡したと伝えた。うち72歳だった服役者はコロナウィルスの症状が出ていたにもかかわらず、検査を受けることなく死亡したと伝えた。
- 4日 ラフォンタンポルトープランス地方裁判所検事長は、デモを再開することはコロナウィルスの感染を大きく広げる危険性があるとし、急進派野党に対してデモを控えるように呼びかけた。

#### (2) ペトロカリベ汚職疑惑

- 5日 当地紙ル・ヌベリストは、ペトロカリベ基金を巡る大規模な汚職疑惑に関する報告書が98%完成しており、近日中に公表されるであろうと報じた。

#### (3) 警官の殺害、元警官のギャングの逮捕命令、警察労働組合の動き

- 1日 シテソレイユにおいて、警官1名が銃で殺害された。
- 15日 司法大臣は、バーベキューの異名を持つギャング・シュリジエの逮捕を命じた。シュリジエは、元警官で、「G9とその同盟」という名の複数のギャングで構成されるグループの創設を発表していた。
- 29日 警察労働組合の長に、ランディ地区監督官が任命された。これは、組合長だったジョゼフ警官が辞職したのを受けたもの。

### 4 日・ハイチ関係

令和2年度対ハイチ無償資金協力「経済社会開発計画」（保健・医療関連機材供与）

- 19日 水野光明在ハイチ日本国大使とジョゼフ外務大臣は、無償資金協力「経済社会開発計画」医療機材供与（供与額3億円）の署名式を実施。